

はみ出す力展

vol.6

図工・美術の授業展
2024

はみ出てからが
授業の本番

PRESENTED BY
TEACHER AND STUDENTS

OVERHANGPOWER
EXHIBITION

2025 10:00 19:00
1.23 日 1.26 日

主催 武蔵野線沿線美術教育実践学習会「び会」

会場   入場無料

巡回 川口市立アートギャラリー・アトリア(入場無料)

教科書に おさまらない、 アートのパワー

学校の図工・美術の授業。誰もが受けてきたこの授業の時間は、今、子どもたちにどんな力を身に付けさせているのでしょうか？日本各地の幼稚園・保育園・こども園、小・中学校、高等学校と教員養成に関わる大学等の授業や造形活動の様子、そこから生まれた作品を、昨年は30の実践に厳選して「はみ出す力30展～図工・美術の授業展～」として「第6回関東甲信越静地区造形教育大会埼玉大会」に合わせて展示・公開しました。会期は短かったものの、大会会場にある展示ホールで開催したこともあり、例年に比べて造形教育に携わる教員の来場が多く、この展覧会を様々な発信していただくことになりました。

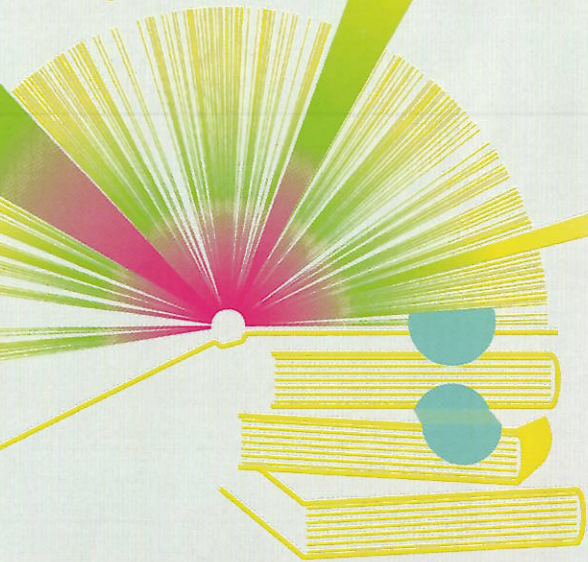
第6回目を迎える本年度は、いよいよ埼玉県からはみ出し、青森県八戸市と埼玉県川口市の2会場で開催します。本年は、八戸市美術館と共催し、様々な地域や校種の実践や作品、中学校での「造形実験」の広がりも紹介し、それらの授業の中で育まれる、未来を拓いていく子どもたちの力を、工夫した展示を通して「はみ出す力」として考えていきます。

現行の学習指導要領改訂の背景には、これからの予測困難な時代において、2030年の社会を生きる子どもたち一人一人が、社会の変化に対応し、未来の創り手となることへの期待がありました。現在、小学校の全面実施からは5年、中学校では4年が経ち、新たな評価の観点などが定着し、そして次期学習指導要領の作成に向けての動きも始めています。

本展覧会では、造形活動を通して「常識にとらわれず、既存の枠組みからはみ出し、未来に向かって飛び出すエネルギー」を、子どもたちがたくましく未来を拓くイノベーションにつながる力であるととらえ、「はみ出す力展」として第6回目の展示に臨みます。

はみ出す力展 vol.6

図工・美術の授業展 2024



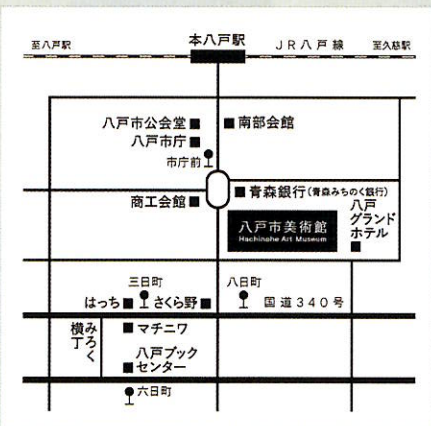
2025 1.23日 - 1.26日
10:00 — 19:00



ほろ酔い鑑賞
「ほろハチ」
◎はみ出す力展
1月25日(土)
19時過ぎ頃～ 要参加費



対象 全国の保育園・幼稚園・小中学校・高校・
特別支援学校・大学等の教職員、図工・美術教育に携わる方



八戸市美術館
〒031-0031 青森県八戸市大字番町 10-4
Tel 0178-45-8338 Fax 0178-24-4531
<https://hachinohe-art-museum.jp>

観覧料
無料

交通案内

- <電車利用>
JR 東北新幹線で東京駅から約3時間、新青森駅から約30分、八戸駅下車。
八戸駅からJR 八戸線で約10分、本八戸駅下車。徒歩約10分。
- <車利用>
八戸自動車道八戸ICから中心市街地方面へ約15分
(館内には駐車場がございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。)
- <バス利用>
八戸駅東口前バス乗り場1番から中心街方面乗車、約20分。
中心街ターミナル(三日町または八日町)下車。徒歩2分。
- <飛行機利用>
三沢空港から空港連絡バスで約55分、八戸八日町下車。徒歩2分。

主催 武蔵野線沿線美術教育実践学習会「び会」
共催 八戸市美術館
後援 埼玉県教育委員会、川口市教育委員会、
青森県教育委員会、八戸市教育委員会

その他 本展は観覧料無料
問い合わせ先 埼玉大学教育学部附属中学校
美術科 小西 悟士 3104smallwest@gmail.com